

第3回 室蘭港カーボンニュートラルポート協議会

日時：令和5年2月24日（金） 14：00～15：40

場所：室ガス文化センター、オンライン（Zoom）

議事内容

1. 開会

事務局の司会により、第3回 室蘭港カーボンニュートラルポート協議会を開会した。

2. 議事

事務局より資料の確認を実施し、参加者の紹介は出席者名簿（資料1）にて代替した。その後、事務局の司会進行により議事を開始した。

■ 主催者挨拶

室蘭市 白熊副市長より、協議会開催に際し室蘭市を代表して挨拶が行われた。

■ 北海道開発局情報提供

北海道開発局港湾空港部港湾計画課より CNP 形成等に関する最近の動向について、資料3を用いて説明が行われた。

■ 前回協議内容と本日の目的について

事務局より、資料4を用いて、前回協議内容と本日の目的についての確認が行われた。

■ 温室効果ガス排出量の推計結果及び削減目標

事務局より、資料4を用いて、温室効果ガス排出量の推計結果及び削減目標についての説明が行われた。

■ 室蘭港 CNP 形成計画骨子について

事務局より、資料5を用いて、室蘭港 CNP 形成計画骨子の説明が行われた。

■ 室蘭港 CNP 形成計画（案）について

事務局より、資料6を用いて、室蘭港 CNP 形成計画（案）の説明が行われた。

■ 質疑応答

事務局の司会により、ご参加の各社・団体より、ご意見・ご質問頂いた。

- 地球温暖化の深刻化により、海水面が上昇したり、台風が猛威化した場合は、既存の防波堤では機能しなくなる可能性がある。その対策として盛石をすれば、そこがブルーカーボンの住処となり、地球温暖化対策につながる可能性がある
- 他地域の事例では、ブルーカーボンによる削減効果はどの程度か
 - ✓ 釧路港の防波堤における取組みは 22 t-CO₂ の削減効果があると推算している。寄与はそこまで大きいわけではないが、防波堤の改良時等に併せて実施することは重要と認識している
 - ✓ 今後、民間企業による実証実験なども含め、ブルーカーボンの取組みについて検討できればと考えている
- MCH より取り出した水素に関して、再度液化して液化水素として輸送することを想定しているか。あるいは、昇圧して高圧ガス水素として輸送することを想定しているか

- ✓ 現段階ではどちらを採用するか想定しておらず、関連設備所有者等と協議しながら、今後決定できればと考えている
- 6章の競争力向上に向けた取組み内容に関して、4章の内容を踏まえながら、整理する必要があると考える
 - ✓ 計画は定期的に見直すため、その都度内容を整理する
- クルーズ船就航の再開にあたり、陸電供給へ取り組むことで、イメージアップすることが大切と考えている。室蘭市において、北海道や国と連携しながら、取り進めていく予定はあるか
 - ✓ 専用埠頭については、国の補助制度等を紹介することを通じて、推進していく。また公共埠頭については、費用対効果等も考慮しながら検討していく
- 今後寄港回数が増えると記載されているが、既存の施設で対応可能か
 - ✓ 船舶用の液化水素タンクの大型化開発が進んでいるため、一時的には寄港回数は増加するものの、上述の技術が成熟した場合、タンク容量が大きくなり、1回の寄港で運べる水素量が多くなるため、寄港回数は減少すると推察している
 - ✓ 今後どのような施設が必要か、関係部署等と連携して検討を進める

■ 室蘭港 CNP 形成計画案の委員承認

全委員の同意の基、本計画は承認された。

■ 次年度以降の進め方について

事務局より、次年度以降の進め方について説明が行われた。進捗状況の共有や計画の見直しの場合として、年1,2回の開催を想定している。

3. 閉会

閉会にあたり、室蘭市港湾部 佐藤部長より挨拶を実施した。

以上